

平成 20 年度愛知県環境審議会廃棄物部会会議録

1 日 時

平成 21 年 3 月 23 日（月）午後 1 時 30 分から午後 3 時 20 分まで

2 場 所

愛知県三の丸庁舎 802 会議室

3 出席者

委員 4 名、専門委員 3 名

説明のために出席した者 17 名

4 会議の概要

(1) 開会

定足数を満たしていることを確認。

(2) あいさつ

安藤資源循環推進監

中村部会長

(3) 議事

ア 傍聴人について

中村部会長が事務局に確認の上、傍聴人はいないことが報告された。

イ 会議録の署名について

会議録の署名者として、宮尾委員及び山岸委員が指名された。

ウ 報告事項

(ア) ・愛知県廃棄物処理計画の実施状況について

・一般廃棄物及び産業廃棄物の減量化状況について

(イ) 再生資源活用審査制度の状況について

(ウ) 衣浦港 3 号地廃棄物最終処分場整備事業について

(エ) あいちゼロエミッション・コミュニティ構想等について

事務局から資料説明をし、以下の質疑応答が行われた。

《質疑応答》

【中村部会長】

資料2のレジ袋削減取組店制度の資料に目標がレジ袋辞退率を3年間で50%以上とする
とあるが、目標からみて現在どのような状況にあるのか。

【事務局】

目標は各店舗でお客さんが辞退する率を50%以上とするよう目指しているということ
です。

【井村委員】

最終処分量の目標と資料3にある県外移出入との関係はどのように理解したらよいのか。

【事務局】

平成23年度目標は111万5千トン、平成18年度埋立量として121万8千トンという実
績がありますが、愛知県内で排出されたものが最終的にどれだけ埋立てられたかというこ
とで移出入とは直接の関係はありません。

【宮尾委員】

資料1の計画の実施状況ですが、対象は全県ですか。名古屋市を除く市町村ですか。対
象はどうなっていますか。

【事務局】

県全域の計画ということで、政令市・中核市もとらえた上で計画量を出しています。

【部会長】

名古屋市と統計の取り方が違うのではないかとということがあっても全部入っている
ということですね。

【山岸委員】

資料2で1人当たりが出すごみの量が平成18年度と平成19年度と比べると減っている。
これはごみの総量は増えているが再生資源化することで今までは減ってきているというこ
とでしたが、このたび総量もほんのわずかだが減っている。人口が減ったとか産業の景気
とかどういった理由で減っているのでしょうか。

【事務局】

市町村が努力した結果であり、容器包装リサイクル法や家電リサイクル法等の各種リサ
イクル法に基づく取組による結果と認識しています。

【小野専門委員】

資料3の最終処分場の設置状況ですが公共関与の最終処分場の設置数はどれだけか。

【事務局】

公共関与の最終処分場としては新舞子の愛知臨海環境整備センター、豊田市内の処分場、衣浦にある処分場の3つがあります。その他に産業廃棄物も入れますよという一般廃棄物最終処分場も若干あります。

【小野専門委員】

容量はどれだけか。

【事務局】

公共関与最終処分場の残存容量は、平成19年3月末現在で142万3千m³あります。全体の940万m³のうちの142万3千m³ということになります。15%です。新舞子、衣浦は海面埋立で容量が非常に多いです。豊田は山間部ですが広いところで埋立てております。

【小野専門委員】

レジ袋の削減とごみ袋の増加との関係はちゃんととっているか。レジ袋がごみ袋として使われていた量はかなりあったと思うが、レジ袋が減少したことによってごみ袋がどれだけ増加したのか検証しなければいけないのでは。

【山岸委員】

関連で、レジ袋を削減してこういう効果があったというようなことをお聞きしたい。

【事務局】

レジ袋の削減については、ごみやCO₂の削減といったこともあるがそれよりも県民のライフスタイルを変えていくという象徴的な位置づけを大事にしています。レジ袋を削減したことによりごみ袋が増えてはいけないのではということがありますが、今までレジ袋がごみ袋として使われる量以上にレジ袋は教育的な効果があると考えております。

【山岸委員】

取組が始まる前と比べてスーパーでマイバッグを持つ人が多くなってきている。マイはしを持つ人も増えてきている。教育効果でレジ袋の次はこうしようという人を身近に感じる。ただ、教育効果はあるかもしれないが、実際にどういう効果があったのでしょうか。レジ袋を目の敵にするのであれば他にも割り箸やアイスクリームのスプーンとかも対象として考えてもいいのでは。

【中村部会長】

もう少し長い目で見ながらこの1年間考えていったらどうでしょうか。

【山岸委員】

3つに使用目的が限定されているのに積立ててどうして道路整備費に使うんですか。

【事務局】

街中の道路を使わずに武豊の最終処分場へ行くための道路整備です。

周辺環境対策の一環で搬入車両は必ずこの道路を通るということで供用開始までに整備するものです。基本は最終処分場の設置促進が第一でその周辺対策です。

【山岸委員】

前にも申し上げましたが、廃棄物の適正処理の指導というところで6月、11月の強化月間の立入指導とありますが立入があるぞと予告じゃないですか。組合の専従の調査でも1回目は席に居なかったけれども2回目3回目となるに従って居るようになってきたとある。予告したからだそうだが有効性が保てるものなのか。実施する側からみても問題があるところはないのでしょうか。強化月間でも45件の文書指導されているわけで実際はこうなんだよというものがありませんでしたら。

【事務局】

6月、11月の強化月間はテーマをきちんと決めてやっています。そこを重点的に見るといって形でお知らせしています。立入するぞとみんなが準備して直してくれれば当初の目的は達したと理解できるかと思います。事業者には当然予告はしておりませんが。自己点検して是正されれば実際立入をしなくても逆に言えば効果はあるという面もあると考えております。立入は年間を通じてやっています。6月、11月はもっと強化しようという意味合いでつけてやっている内容のものです。1回行ってもなかなか直らないときは2回も3回も期間をおかずずっと是正されるまで文書なりで指導しているのが現状であります。

【小野専門委員】

公共関与最終処分場は3施設ということでしたが、それに関連して資料1の循環型社会形成推進交付金と産業廃棄物税による充当事業が関係しているのではないかと思ってお尋ねしたいのですが。資料1の施策4にある6つの最終処分場は先ほどの話とどういう関係ですか。

【事務局】

公共関与最終処分場の3施設は産業廃棄物の処分場になります。資料1の施策4の最終処分場は一般廃棄物の処分場です。

【小野専門委員】

産業廃棄物税充当事業として公共関与の最終処分場に対する補助はないのですか。

【事務局】

衣浦港3号地廃棄物処分場は、産業廃棄物の受入が4分の3で一般廃棄物は4分の1を予定しています。産業廃棄物については愛知臨海環境整備センター（アセック）が廃棄物処理センターという法的位置付けを得て国の制度的な補助金を得られるということで県による施設整備費に対する補助もあります。産廃税については直接的な補助はしないという整理で周辺環境整備をすることとなっています。

【小野専門委員】

産業廃棄物の公共関与処分場に対する県からの補助は産廃税充当事業として入っているのか。他に3施設あるというから補助されることはあるのかと言っている。

【事務局】

衣浦港3号地が初めてです。

【小野専門委員】

なぜなのか。経営が難しくなっておりちゃんと県全体で支えていって残していかなければならないという問題がある中でその施策が入っていないのはおかしいのではないか。

【事務局】

県内の3箇所の最終処分場については、豊田を除いて平成22年度位には終わってしまいます。産廃処分については事業者処理責任が原則ですので、不特定多数から集めた税金を経営にまで充当することまでは考えておりませんが、道路等周辺環境整備に対して充当する考えはあります。

【宮尾委員】

資料4の中で、再生資源環境安全性とありますが、法律なり条令で基準はあるのですか。特殊肥料ですと農水省から政令か省令が出ていますが。

【事務局】

土壌環境基準に照らして判断しております。

【安田専門委員】

肥料として使うときは厳しいと思うが用途に鑑みてやられているのか。

【事務局】

やっています。

【宮尾委員】

やっているというのはどこの判断ですか。

【事務局】

県の判断です。

【宮尾委員】

特殊肥料に適合しているかどうかのチェックが必要ですね。

【事務局】

他法令に適合しているかどうかチェックをしております。

【小野専門委員】

資料5を見ると、サンドコンパクションパイルでもうやってあったところをなぜ除かなければならないのか。前にやったやつでは体力が足りないということか。

【事務局】

そうです。その砂杭に硬いものがあったのでそれを取り除くということです。

【中村部会長】

あいちゼロエミッション・コミュニティ構想の御説明についてはいかがでしょうか。

【事務局】

構想を推進する場所として県庁西庁舎一階にフロアがありますので、見て頂きながら御説明したいと考えておりますが、いかがでしょうか。

【中村部会長】

では、皆さんにフロアを見て頂きながら説明を聞きたいと思います。

この後、県庁西庁舎一階の「あいち資源循環推進センター」で、あいちエコプランに掲載した事業の概要、あいちゼロエミッション・コミュニティ構想等の報告を兼ねた見学会が実施された。